



金融リテラシー教育プログラム「ぎふしんマネーエデュ」

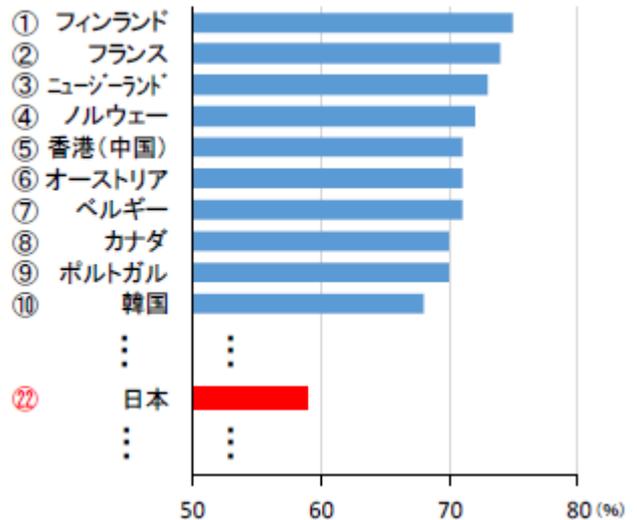
📖 日本の金融リテラシーは低い!?

金融広報中央委員会が実施した国内における「金融リテラシー調査」と経済協力開発機構（OECD）が実施した諸外国における同種の調査について、共通問の正答率を比較すると、対象30カ国中、日本は22位という低い順位にあります。（右図参照）

また、国内においては成人年齢の引き下げや、少子高齢化による社会保障の減少、資金決済方法の多様化など金融リテラシー向上が課題となっています。

当金庫ではこうした課題を解決するために令和5年2月に金融リテラシー教育プログラム「ぎふしんマネーエデュ」（エデュはエデュケーション（教育）の略）を新規策定し、体系的に実施しています。

金融リテラシーに関する調査の国際比較 （共通11問の正答率）



出所) 日本銀行 金融リテラシー～人生を豊かにする「お金」の知恵～

📖 そもそも「金融リテラシー」ってなに？

金融リテラシーとは「金融や経済に関する知識や情報を正しく理解し、判断する力」を指します。

現在は貯蓄・運用・保険・各種ローン・クレジットカード・キャッシュレス決済などの様々な金融サービスがあり、正しく判断し、利用することができれば生活をより便利で豊かなものとすることができます。一方で、金融リテラシーが低い場合には正しい判断ができず、詐欺被害や無計画な利用により自分自身や家族が苦しんでしまうことがあります。

📖 「ぎふしんマネーエデュ」では何を学べる？

「ぎふしんマネーエデュ」では実施対象先を「学校向け」「職域向け」「地域向け」の3カテゴリーに分類し地域の皆さまを対象として、各世代、各フェーズに合わせた金融教育を実施しています。各カテゴリーの教育内容については右表の通りとなっています。基礎的なお金の仕組みから資産形成、スポーツ教室と融合した金融教育まで各種メニューを提供しています。

3つのカテゴリーについて



当金庫職員によるお金の仕組み、資金決済方法、ライフプランにおける収支、ローンの仕組みや注意点についての講義。

第一フロンティア生命保険が提供する「ライフシミュレーションゲーム」の実施等。



当金庫職員及び投信会社、保険会社の社員によるライフプランにおける収支や資産形成、資産運用などのセミナー。

お取引先企業の新入社員向けに「ライフプランと資産形成」についての研修。



お金の仕組み、資金決済方法、ライフプランにおける収支などを学ぶことのできるイベントの実施。
当金庫野球部員、卓球部員によるスポーツ教室と融合した金融教育の実施。

当金庫職員及び投信会社、保険会社の社員によるライフプランにおける収支や資産形成、資産運用、年金、相続、マーケット情報などのセミナー。

📖 これまでの実施実績

令和5年6月末現在(新規策定より5カ月経過)では学校向け5件、職域向け22件、地域向け3件を実施しています。学校向けにおいては受講者より「お金の大事さがよくわかった。両親が働いて得た大事なお金で私たちが生活できていることを再認識した」との感想があり、金融リテラシーの向上とともにお金に対する倫理観も向上しました。

職域向けでは「資産形成の重要性を知ることができ、結婚や住宅、老後など将来に向けて貯蓄を行っていこうと思った」との感想があり、ライフプランに合わせた計画的な貯蓄や様々な資産形成方法を伝えることができました。

地域向けにおいても「親子で楽しみながらお金の大切さや為替について学ぶことができた」との感想があり、地域の皆さまの金融リテラシー向上に繋がっています。



「ぎふしんマネーエデュ」パンフレット表紙



📖 金融リテラシー向上の先にあるもの

当金庫は令和6年3月に創立100周年を迎えます。地域とのつながりを大切にしてきた当金庫の思いをロゴマークとして形にしました。(右図) ロゴマークにはともに歩んできた地域と、当金庫の歩みである100の数字を一つとすることで、これからも地域と一体となって未来へ向かうという思いが込められています。

「ぎふしんマネーエデュ」も金融リテラシー向上により、経営理念の「豊かな家庭生活実現のお手伝い」を实践し、地域の皆さまとともに次の100年に向けて歩んでいくという思いがあります。



「ぎふしんマネーエデュ」にご興味のある方は、お気軽にお近くの店舗、お取引店舗へご相談ください。